

令和4年9月22日

白河市教育委員会

9月定例会会議録

令和4年9月白河市教育委員会定例会会議録

日 時 令和4年9月22日(木)
開 会 午後3時00分
閉 会 午後4時15分

場 所 白河市役所 正庁

報告事項

- (1) 教育長報告
- (2) 各課所報告

○ 出席委員

教育長 芳賀 祐司 1番委員 高橋 顕 2番委員 北條 睦子
3番委員 沼田 鮎美 4番委員 瀧澤 学

○ 欠席委員

なし

○ 出席説明員

教 育 部 長	水野谷 茂	教 育 総 務 課 長	藤井 浩司
学 校 教 育 課 長	稲川 竜寿	生涯学習スポーツ課長	近内 友明
中央公民館長	井上 健一	図 書 館 長	中沢 孝之
健康給食推進室長補佐	根本 淳子	学 校 教 育 課 主 幹	仁科 英俊

○ 書記

教育総務課課長補佐 高久 忠雄 教育総務課主査 大塩 健一

○ 傍聴人 なし

【午後 3 時 0 0 分開会】

日程第 1 開 会

○教育長

これより令和 4 年白河市教育委員会 9 月定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

日程第 2 会期の決定

○教育長

次に日程第 2 会期の決定ですが、白河市教育委員会会議規則第 4 条の規定により、本日 1 日間といたします。

日程第 3 書記の指名

○教育長

次に日程第 3 書記の指名を行います。書記には教育長において高久教育総務課課長補佐、大塩教育総務課主査を指名します。

日程第 4 教育長報告

○教育長

次に日程第 4 教育長報告に入ります。それでは、私から 2 点報告いたします。

まず 1 点目です。小中学校では 2 学期がスタートして、ちょうど 1 ヶ月が過ぎましたが、感染力の強いオミクロン B A 5 により感染が拡大し、学校によっては学級閉鎖や学年閉鎖の対応をせざるを得ない状況にありました。このような中、中学校では 9 月 5 日から 1 5 日までの期間にすべての中学校で修学旅行を実施することができました。3 年生全員が参加できるようにと感染対策には十分気を遣ったようではありますが、2 学期も各学校で様々な教育活動が予定されております。より充実した学期となるよう今後も感染対策に取り組み、可能な限り子どもたちの活動を確保してまいります。

2 点目ですが、後ほど全国学力・学習状況調査の結果について担当よりご説明申しあげますが、議会でも学力をさらに向上させてほしい旨の意見がありました。児童生徒の学力を高める最大の基盤は教師の指導力であります。教員は経験 1 年目でも担任し授業を行い、経験のある教員と同等の指導力が求められ、また I C T 機器の活用など学習内容や方法が変わってくることから、絶えず自分を高める、研修する義務があります。本市では授業研究校として小学校 3 校中学校 2 校を指定しており本年度は白河二中は 1 1 月 1 8 日（金）、白河二小は 1 1 月 2 5 日（金）、白河三小は 1 月 2 7 日（金）に授業研究公開を行います。教員の備えるべき資質能力で「授業力」は重要なものであり、この授業研究公開を通して教員の資質を高めたいと思います。以上です。

日程第5 各課所報告

○教育長

次に日程第5各課所報告に入ります。行事報告、行事予定について、教育総務課から順次報告をお願いします。

(教育総務課長から順次報告)

○教育長

その他各課所からございますか。

※生涯学習スポーツ課長より次の2点について報告

- ・7月定例会で瀧澤委員より質問があった中山義秀記念文学館の件について
- ・令和5年以降の新たな成人式の名称について

○教育長

それでは、これより一般質問に入ります。各課所報告及び本市の教育行政一般に関し、ご質問をお受けいたします。

○高橋委員

本日図書館から、「近代日本の松平定信顕彰と渋沢栄一の役割」と題した講演会のチラシをいただきましたが、先日、小峰城歴史館で行われていた松平定信と渋沢栄一の企画展に参加してきました。学芸員の方がすごく丁寧に展示物について説明をしてくれて、白河が中心になって、松平定信と渋沢栄一が深い関係になっていることがよく理解できました。歴史的な教育については、白河市の一つの取組みにもなっていて、すべての先生方の参加は難しいと思いますが、ぜひ校長先生には見る機会をもってもらえたらありがたいと思いました。図書館で行われる講演会も重要だと思います。良い機会だと思いますので、ぜひご検討願えればなと思っています。

○学校教育課長

市では小中学生の歴史文化教育に力を入れて取り組んでいます。子ども達に学ばせる前に、教える立場の教職員が白河の歴史と文化を知らなければいけないだろうということで、毎年夏休みに入ってすぐ、教職員を対象に研修会を開催しております。その研修会ですけれども、新しく白河市に着任された校長先生や教頭先生、まだ白河市のことをよく知らない若い先生などを対象に参加を募って開催しております。委員がおっしゃるように、市では様々な催し物を行っています。そういったものに関心を持っていただくことは大切なことだと思っておりますが、その都度催し物に参加するのは、年間の見通しがないとなかなか計画は立

てづらいのかなと思っています。いろんな機会をつかって、先生方にも白河の歴史や文化に関心を持っていただくためのPRを行い、そういったなかで催し物に先生方が足を運んでもらえるようになれば良いのかなと考えています。

○瀧澤委員

7月に質問した件についてご回答いただきありがとうございました。その件についてですが、例えば中山義秀記念文学館で、こういった催しをやりたいといったことを本人がお願いしても、そういうことはできないといった意味合いで良かったのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長

中山義秀記念文学館では、まず中山義秀を知っていただきたいということと、中山義秀を知っていただくために来館していただきたいという二つの目標があります。どういう催しを行えば中山義秀を知ってもらえるか、文学館に足を運んでもらえるのかということ、翌年度の予算を編成する際に、中山義秀顕彰会や中山義秀記念文学館運営委員の方と、館長も含めて事務局と話し合っていて決めています。申し出があったものについては、吟味したうえで必要があれば、状況によっては翌年度に行うことについて検討することもあり得ますので、可能性がないわけではございません。

○瀧澤委員

ここ数年いろいろな催しが行われていて、すごいなと思ったものですから、こういった形で少しでも文学館に足を運んでもらえるのはすごく良いことだと思い、どういう形で進められているのかお聞きしたかったものですから、お聞きしました。中山義秀をメインにして行っていたいことも分かりました。ありがとうございました。

○北條委員

新聞でデジタル教科書についての記事を見ました。期待される効果と懸念される点について教えてください。

○学校教育課長

デジタル教科書は、英語であればネイティブな発音で文書を読み上げることができますし、社会科であれば写真をクリックするとそれが動画に変わるなど、いろいろ活用の幅はあるかと思えます。問題なのは、機器の不具合で止まってしまう心配があります。また、常時デジタルに目を向けるわけなので、視力等の健康にどのような影響があるのかということも若干懸念されるところです。徐々にその辺を検証しながら、今後活用が広がっていくと思いますが、その辺をよく考えていかないと、やはりベースとなる紙の教科書は欠かせないというのが、学校現場の意見でございます。ベースとして紙の教科書を使いながら

デジタルが併用できれば、なお良いと思いますが、国が両方の予算をとれるのかといった問題もありますから、全国的な状況を見守っていくしかないのかなと思っています。

○北條委員

先日、学校の授業を観させていただきましたが、先生がにこにこしないで授業を進めている学校もあったので、そういうデジタル教科書があれば、導入の部分で入りやすいのかなと思いました。中学2年生の英語を拝見しましたが、文法がすごく難しそうで、こういったものがあればとっつきやすくなるのかなと思いました。

○学校教育課長

ツールとしては非常に有効だと思いますが、全部がデジタル教科書になることが好ましいかというのは、まだまだ全国的な検証が必要なのかなというふうに考えています。

○沼田委員

8月31日に、表郷中で行われた市長と語る「しらかわ未来フォーラム」に参加させていただきました。表郷中の生徒達は、未来フォーラムの前に高齢者体験をしたうえで、こういうふうな街づくりにしていったらいいんじゃないかということを経理に提案されていきました。市長もすごい真剣に聞いていらっしやって、それについて答えてくれて、子ども達も市長に聞いてもらえる、一緒に考えてくれている、そういう白河市民の一員だという気持ちがおおきく強くなったきっかけになるんじゃないのかなと思いました。私も勉強できるところがたくさんあって、とても良かったと思います。ありがとうございました。

○教育長

これにて一般質問を終了いたします。

日程第6 その他

○教育長

次に日程第6その他に入りますが、「令和4年度全国学力・学習状況調査の調査結果及び考察について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により非公開にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

○教育長

ご異議なしと認めます。よって、同案件については、非公開として後ほど協議することとします。その他、各課所の取組や課題などについて、ご意見ご質問等がありましたら、この

場で取り上げたいと思いますが、何かございますか。

○瀧澤委員

大信小学校についてですが、統合して1学期が終わり、2学期がスタートしました。統合していろいろと試行錯誤の部分もあるかと思いますが、どんな感じで1学期が終わって、2学期に向けて動いているのか、今の状況について教えてください。

○学校教育課長

1学期の大信小学校の状況等については、校長等から情報を寄せていただいております。それまで少人数の学校でありましたが、人数が増えて非常に学校が楽しい、大きなトラブルもなく、統合して良かったという子ども達の反応であるというふうに伺っております。友達が増えたり、様々な活動が大勢でできたり、そういった喜びが子ども達にはあるのかなというふうに考えています。保護者の方からも概ね統合については、良い印象をいただいているというふうに伺っております。子ども達は昨年までの学校ごとの壁というものを感じさせず、すぐに友達関係になれて、一つの学校として活動しているようです。2学期は様々な行事が控えているわけですが、子ども達は行事一つ一つを楽しみに準備しているのではないかなというふうに考えております。

○瀧澤委員

3校、その3地域に、それぞれ伝統とか、やり方とか、多少の違いはあるのかなと思いますが、これから新しい大信小学校としての歴史をつくっていただいて、信夫一小、信夫二小、大屋小学校の良い面を取り入れて、学校運営をやっていただければなと思っています。ありがとうございます。

○教育長

大屋小学校には、大屋小学校の今までの伝統があって、信夫二小には信夫二小の伝統があって、信夫一小には信夫一小の伝統があって、その3つのいいところ取りをしながら引き継いできましたが、すべてがすべて引き継げたわけではなく、例えば、大屋小学校に長年子どもさんを預けていけば、大屋小学校の歴史と伝統を分かっているから、それがなくなれば当然寂しい思いをしますし、信夫二小、信夫一小も同じだと思います。これから、PTA、学校運営協議会とかで学校と話をしたり、来年度の大きな行事を決めていったりして、新しい大信小学校の伝統をつくっていくという形になっていくのかなと思います。最初の1、2年は、慣れ親しんだものが無くなったりすると、寂しい思いをしている方もなかにはいらっしゃるのかなと思います。でも、新たな学校ですので、良さを前面にだして、新たなことをさらにやっていけます。例えばこれから秋に音楽会、学習発表会がありますが、信夫二小での学年は数名でしたが、大きくなっていろんなことができて良かったと思うこともあると思

ます。子ども達は元気に過ごし、一生懸命分け隔てなくやっているので、それはすごく良いことで、今スムーズにスタートしているので、私は統合学校として順調にスタートしているのかなというふうに思っているところです。

○高橋委員

高校の決まりについて、学校のホームページにアップして、周知できるようにしてはどうかといったことを新聞か何かで見ました。義務の話ではないかと思いますが、市内の小中学校でもそういう動きがあったりはするのでしょうか。

○学校教育課長

今現在具体的にどこの学校で、どのような取組みをしているという情報はつかんでいません。校則が本当に適したものであるのかどうかというのは、子ども達、教職員、保護者等とよく話し合っ、見直しをしなくてはいけないものだというふうに考えています。

○教育長

それでは、「令和4年度 全国学力・学習状況調査の調査結果及び考察について」の協議に入りたいと思いますので、これより非公開といたします。

(以下非公開)

○教育長

それでは、全ての日程が終了しましたので、以上で白河市教育委員会9月定例会を閉会いたします。

【午後4時15分閉会】